

知事と区市町村長との意見交換会(江戸川区)

令和2年10月9日(金)

16時15分～16時35分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事からお願いいたします。

○知事 斉藤区長におかれましては、今日のご足労お掛けいたしております。コロナ対策を日々取り組んで、お互い厳しい中ではありますがけれども、このところはだいぶコロナとの戦い方等、まだまだではありますがけれども、ぜひ今後のウィズコロナも考えながら、連携を取って進めていきたいと考えております。

江戸川区でもこの間、職場のクラスターが出たりしておりますけれども、やはり言えることは親しい中にも礼儀、マスクじゃないかと。今、難局に立ち向かっているわけでありまして、都政も構造改革を強力に推し進めておりまして、その構造改革を梃子にして新しい日常、サステナブルリカバリーという新たな視点で長期戦略を描いていくという、今日はそのご意見もそちらに反映させていただければと思っております。ぜひオール東京でここは向かっていきたいと頑張っておりますので、限られた時間ではございますが、どうぞよろしくをお願いいたします。

○行政部長 それでは斉藤区長、お願いいたします。

○江戸川区長 それではよろしくをお願いいたします。スライドを使いながらでもよろしいでしょうか。

まず江戸川区から、今日は3点お話をさせていただきます。最初に障害者スポーツセンターの整備でございます。

パラリンピックでは22競技がございますけれど、江戸川区は、パラリンピックのレガシーとして、既存の施設を使って全て区内でできるようにするという宣言をいたしました。22競技が並んでおりますが、丸が付いているところは試合をできるような形にします。3競技、トライアスロンとか、自転車競技においてはどうしても区内でできないものですから、それ以外の全て、区内で試合ができるという形にしたいと思っております。レガシーとして、こういったことをしっかりやっていければと思っております。ただ、これはあくまでも今区内にある既存の施設ということでございます。

これはあってはいけないことではございますけれども、実際はありまして、障害があることを理由に断られた、車椅子ですと床を傷付けてしまうとか、あるいは障害者の皆さんから見れば、周りの目が気になるとか、遠慮してしまうということで、やはり利用をためらってしまうケース、あるいは既存の施設がいつもいっぱい利用が難しいということもございます。

したがって障害者のためのスポーツ環境の整備が必要であり、そのために、やはり障害者スポーツセンターが必要だと考えています。

人生 100 年時代でございまして、食事と運動と生きがい、この 3 つが必要だと言われて
いますけれども、スポーツは運動や生きがいということに繋がると思っております。

障害者が利用できるということは、高齢者にも子供にも優しい環境のスポーツ施設だと
思っています。北区の障害者スポーツセンターがここに映っておりますけれども、今の時
代、(センター設置を) 知事をお願いしますというようなことは言えないと思っていま
す。私どもで努力して、何とか造っていきたいと思っておりますが、ノウハウ等も含めまして
いろいろな面でご支援を賜ればと思っておりますので、よろしく願いいたします。これ
が 1 点目です。

2 点目です。大規模災害時のポンプ施設の排水機能の確保・維持です。これは江戸川区
の地図です。このブルーに塗ってある所が(海拔) 0 メートル以下でございまして。薄いブ
ルーが満潮よりも下の地域、濃いブルーが干潮よりも下の地域です。陸域の 70% の海拔 0
メートル地帯に、50 万人が暮らしております。

下が東京湾ですけれども、下の方がスーパー堤防等になっておりまして、ここは高くな
っています。するとどういふことが起きるかと言うと、水は高い所から低い所に行くので
すが、結局水が溜まってしまいます。それで洗面器の底のような状態になって、2 週間水
が引かないと、最悪のケースではそのように考えています。

そうすると、やはり人工的に水を排出するにはポンプ施設が必要だろうと。ポンプ所で
すけれども、最大の津波の高さ AP+3.74 メートルに対しては耐水化をしてくださってい
ます。ですのでポンプ所は稼働します。

ただ、問題は高潮です。私どものハザードマップは AP+5.1 を想定しています。これは
伊勢湾台風の時の 5.1 メートルというのを基準に作っておりますし、東京都からご指導い
ただいている最大の想定規模も 5.1 ということでお伺いしています。

つまり、このポンプ所は、津波には耐えられるんですけれども、高潮には耐えられない
ということです。そうすると、先ほどの 2 週間水が引かないということになって参りま
す。ですので、私どもとしては AP+5.1 でも稼働するポンプ所があればということで、お
話をさせていただきました。

今区内に 8 つのポンプ施設がございましてけれども、AP+5.1 に 2 か所が対応いたしてい
ます。あとの 6 か所を何とか 5.1 に対応できるとありがたいというお願いでございま
す。

最後ですけれども、補助 143 号線などの都県橋 3 橋の整備促進です。これは江戸川区の
地図ですが、右側が千葉県です。図右寄りの青いのが江戸川ですが、実は上の橋から下の
橋が、8 キロ空いている所がございまして。ぜひそこに橋を架けていただきたいというこ
とでございまして。特に 3 橋予定をされていますが、真ん中の補助 143 号が喫緊の課題でござ
います。

当然、橋の数が少ないので交通も既存橋に集中して渋滞しますし、都営新宿線、東西
線、両方にまたがっておりますけれども、橋が通れば利便性の向上、生活圏域が拡大しま
す。また、何よりも災害時の防災性の向上ということで、我々から見ると広域避難が可

能、千葉県から見れば帰宅困難者が通れるという話になって参ります。

もう東京都側は橋のたもとまで道路が出来ています。あとはこの橋が架かれば、500メートルぐらい向こうに東西線の行徳駅がありますので、何とかこの橋が架かればというのが、私どもの強い思いです。

東京都さんが作られた都県境の橋梁整備計画の中にもございますが、ぜひ事業化に向けた2020年度の住民説明会の実施、また2022年度の事業化をお願いさせていただければと思っています。私からは以上です。ありがとうございます。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 3点、ご要望を含めていただきました。まずオリンピック、パラリンピック、1年延期いたしましたけれども、コロナ禍を潜り抜けてと言いましょか、対応して、そして新しい形のオリパラがどう開けるのかということで、費用の圧縮等も含めて取り組んでいるところであります。

特にやはりパラリンピックの成功なくして、東京大会の成功はないということを申し上げております。パラスポーツの競技ができる会場をということで、今日お話がありましたように、障害者スポーツをこのパラ大会の後にも可能にするということは、非常に重要だと思えます。

そういう意味でご努力をされているということと、環境整備に対しての支援につきましては、十分これからもご相談いただければというふうに考えております。

それから副知事の方からもお話をさせていただきますが、今の1点目でございますが、3点目の橋は写真を見ればよく分かります。東京都側は143号線がそこまで出来ているということでもありますけれども、橋梁整備のうち、用地取得が比較的少ないということもあります。令和4年度の事業化に向けて、橋梁の構造等の検討を進めて参ります。

あと二つの橋であります。共同事業となる千葉県さんや江戸川区さんとの連携、一層強化して橋梁の整備に着実に取り組んで参りたいと思っております。副知事の方からも一つ。

○副知事 それでは排水機場についてお答えをさせていただきたいと思えます。江戸川区では70%の区域がいわゆる0メートル地帯ということで、そこに50万人の方が生活されているということで、水害対策が極めて重要な行政課題であるというふうに賜っております。

東部低地帯の河川におきましては、津波はもとよりでございますけど、やはり高潮対策潮位に対応したいいわゆる5.1メートルに対応した排水機場の耐水対策が重要であり、東京都としても対応をしているところでございます。

江戸川区内では今月、新川排水機場の対策が完了いたしまして、残る木下川排水機場の対策も着実に進めているところでございます。令和3年度を目指しているところでございます。引き続き、そういった排水機場対策をはじめ、水害対策に本区とご協力させていただきながら進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○行政部長 それでは斉藤区長の方からいかがでしょうか。

○江戸川区長 1点目と3点目につきましては、ありがとうございます。引き続きよろしくをお願いいたします。

ポンプ施設ですが、私どもは2週間水が引かない、それを何とか三日までに縮められな
いか。三日であれば垂直避難で対応できる。我々は「ここにはだめです」というハザ
ードマップを出しています。賛否両論いろいろありますが、広域避難以外にも垂直避難と
いう選択肢が新たに生まれてくるものですから、引き続きよろしくをお願いいたします。

あと、冒頭に新型コロナのお話をさせていただきました。確かに私ども今クラスターが出
てきて、どうしようかということで、やはりここは一人ずつの意識に働きかけるしかない
ということで、広報紙の全戸配布（※新聞折込と町会・自治会回覧）をもう1回行いまし
た。それから、今江戸川区には2万の事業所があります。2万の事業所全てにリーフレッ
トを作って、緊急事態宣言時の4倍の感染者が今同じ日数で出ているんだということをお
知らせしています。

また特に外国人が、今多くなっておりまして、そうするとそういったコミュニティ、教会
だったり、飲食店、そういうところにも積極的に出て行って、何とかそういった一人一人
の意識のところに働きかけるような取り組みをしていますので、引き続きお願いいたしま
す。

そういった中でホテル等で外国人でも対応できるようにして下さったり、あるいは保
健所に対する派遣職員、私どもも4名いただいております、大変そういった面で支援を
させていただきまして、ありがとうございます。

私どもも引き続きご指導いただきながら頑張っておりますので、よろしくお願いま
す。

○行政部長 区長、どうもありがとうございます。それでは最後に知事からお願いをいた
します。

○知事 今日は長期戦略と同時に目の前の課題等、来年度の予算編成にもサポートさせて
いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それから、ぜひ保健所の皆さんに大変に負荷が掛かっておるということで、都の方から
も強化策を出させていただいておりますけれども、やはり判断されるのは保健師さん、保
健所の皆さんであります。ぜひ保健所の管轄をしておられる区長の方から、病院なのか、
療養はホテルなのか、そして自宅なのかということがありますけれども、ぜひ今、家庭内
感染が目立つようになってきております。よって、ぜひ保健師さんには軽症、無症状の
方、圧倒的に多いんですけれども、ぜひ自宅は避け、そしてまた病院は他の疾病の方々にも
使えるようにもしていかなければなりませんし、負荷がずっと掛かっていますし、ぜひ
ホテル療養の方にお進みいただければと思います。

それから外国の方々、言葉が分からないという方も多いかと思います。東急REIの
方で英語等の対応可としている所に、保健師さんの方もご承知だと思います、ご誘導いた
だければ、その方々も一定期間内療養していただけるということに繋がるかと思ってお
りますので、どうぞその点、よろしくをお願いいたします。

- 江戸川区長 そういう考え方で頑張っていきます。ありがとうございます。
- 知事 よろしく願いいたします。今日はありがとうございました。
- 江戸川区長 ありがとうございました。
- 行政部長 それでは以上で終了いたします。どうもありがとうございました。